

自然共生型国土基盤整備技術の開発

1 課題概要

持続可能な社会への転換を求められている現在、都市化の進行等による水循環や生態系の変調による悪影響を緩和・解決し、人間が自然と共生し自然の恩恵を享受できる都市環境を取り戻すことへの国民・社会のニーズはきわめて大きい。

本施策は、このニーズに応える自然共生型の都市再生の推進を図るため、都市及びそれを取り巻く流域圏全体を視野に入れた水質・水量等水環境の回復、水循環による都市の熱環境等の調整機能の回復、生態系の保全・再生等を遂行する総合的・戦略的な自然共生型国土基盤整備プログラムの立案手法を確立することを目的とし、水物質循環の再生技術、エコロジカルネットワークと国土基盤整備を両立させるための技術の開発、関連情報基盤の整備、事業効果の評価・合意形成手法の開発を行うとともに、モデル流域圏への試行適用を通じて、社会・法制・技術的な課題の解決策を明らかにするものである。

(課題内容)

- ・流域圏を考慮した水物質循環の再生技術
流域を単位とした水循環・物質循環モデルの開発
基盤情報のGIS化と統合アプリケーションの開発
水環境再生技術の開発
都市環境の改善に係る社会的受容性評価手法の開発
自然共生型国土基盤整備プログラム手法の開発
- ・流域圏を考慮した生態系の再生技術
流域を単位とした生態系モデルの開発
エコロジカルネットワークの保全・回復技術の開発

2 評価概要及び課題への反映

国土管理や国土防災といった原点に立ち返った都市再生の問題を確認した上で、各要素技術の研究を進めるという姿勢が必要。

国土管理、国土防災といった原点を確認しつつ、自然共生型国土基盤整備を進めるための研究を実施する。

どういう形で合意形成というのは行われていくのかという、ソフトの部分の見通しについても、他省庁との連携の中で生み出していけないといけないのではないか。

合意形成の行われていく形については、人文科学系の有識者などと研究協力を行うとともに、他省の研究と連携しつつ検討を進めていく。